

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2000. 9. 27

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）田辺（福浜小）八谷（幡多小）福井（伊島小）

福井が勤務校の軟式野球の試合のために遅れてきましたので前半部分の話し合いの内容は分かりません。あしからず。今回の例会から冬季研修会にむけて、田辺さんの「ものの動き」の検討が始まりました。

【ものの動き】田辺

3年間継続して研究している5年生「ものの動き」ですが、前回素材研究したものを、今回は実際の授業にかけて問題点を洗い出しています。その中で、指導要領に示された内容を早い段階で理解できているが、条件統制して実験することや「高い・速い」といった感覚用語を客観的な数値で表すこと、1度の実験で結論を出さず数度試行して平均をだすこと…等の科学的方法の習得をどうするか、などが話題になりました。科学的方法の習得には、学級全体で一度問題解決の過程を体験させ、次の段階で個々の問題に向かわせるのが良いのではと石浦先生からアドバイスをいただきました。その時に例示された「ふりこを長い間ふらせるにはどうすればよいか」という問題は、とてもおもしろいものだと思います。



【松ぼっくり・エンタダ豆・ラワン種子】福井

いずれも巨大な種子です。松ぼっくりは一昨年にNSTA（全米理科教師協会）の大会に行った時にヨセミテ国立公園で買ったもので、あとは中村理科で買いました。



【ものとその重さ 第1部】福井

静観台グループは日本初等理科教育研究会の研究グループなので、仮説実験授業について紹介することは場違いだとは思いますが、他の研究団体の考え方・やり方を知っておくことは決して無駄ではないと思いますので、あえて紹介してみました。この「ものとその重さ」という授業書は、重さをテーマにした実験群を通して、①見かけ上の形を変えても重さはかわらないこと、②ものの重さを決めているのは分子・原子の量であること、などの科学的認識を身に付けさせることをねらいとしています。

【本紹介】高松

「地下でさくさくの花」（たくさんのふしぎ9月号：福音館）西オーストラリアの草原にリザンテラ ガルドゥネリ（ラン科）という地下で咲く花があるというお話です。この花には葉がなく（地下なので光合成ができない）、ブルーム・ブッシュという木の根に寄生しています。花の定義って何だろう？

【お知らせ】

石浦先生のサイエンス・フィールドが10月29日（日）に正式にオープンします。当日は子供達を集めて科学あそびをします。午前10時から12時までの2時間ですので、できる限り多くのメンバーが参加してサイエンス・フィールドの門出をお祝いしましょう。（科学あそびの手伝いも必要です）

